

デジタル社会における学び方と学びの場 —オンライン環境で「出来ること」「すべきこと」

開催地：オンライン（大阪） グループ1 2022.9.18

VR活用と教育



スライドの流れ

1,VRを活用する上でのイメージ

VRがどういうものか

2,VRを活用する上でのメリット

3,VRを活用する上でのデメリット

4,デメリットの解決案

5,ICT活用が苦手な子がVRを活用するために

6,提言・まとめ

VRを活用するイメージ

VRとは→バーチャルリアリティーの略語。

「人工現実感」「仮想現実」と訳されます。

「表面的には現実ではないが、本質的には現実」という意味が含まれ、VRによって「限りなく実体験に近い体験が得られる」ということを示します。

VRゴーグルと呼ばれる物を身に着け、360度現実に限りなく近い世界に没入する感覚が得られます。

(一部Googleから引用)

以下、「VRの世界に架空の学校を作る」という仮定の下、スライドを作成しています。



VRのメリットとデメリット



VR活用をする上でのメリット

- ・ 臨場感のある授業を提供できる
- ・ 海外など、地理的に参加の難しい授業の履修
- ・ 本物の火を使わずに、安全に理科の実験
- ・ 地震や火災などの避難訓練のシミュレーション
- ・ 言葉だけじゃなく、視覚的によりわかりやすくできる
- ・ 歴史で、当時の環境や生活などの再現
- ・ 登校できない人でも教室にいるように

VR活用をする上でのメリット

- ・ 体育の授業でシュートのフォームなどいろいろな角度から見ることができる
- ・ インターネットリテラシーについて教育の場でインターネットを活用することで教える機会ができる。
- ・ 企業見学やOCに気軽にいくことができ、自分が満足するまで見学することができる

VRを活用する上でのデメリット

- 友達との距離感がわかりにくい
- 表情が読み取りにくい
- 高額な費用がかかる
- インターネット環境を作る必要性

デメリットの解決案

- ・友達との距離感がわかりにくい
→インターネットリテラシーの教育の活用
- ・表情が読み取りにくい
→Zoomのリアクションみたいな感じ？(アバターの上に絵文字, エモートなど)
- ・高額な費用がかかる
→提言したい
- ・インターネット環境を作る必要性
→お手軽で早い速度のWi-fiを契約する必要

ICT活用が苦手な子の為に

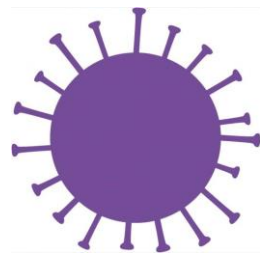
誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化を

- 最初是对面での技術的な講義を行う
- システムを可能な限り簡単なものにする
- 気軽に聞けるコールセンターを作る
- 友達同士の助け合いに期待！
- 誰もが使えるように講習を行う

提言・まとめ

災害により教育を停止させないようにするために
→オンラインでより楽しく、わかりやすい自由な教育、
誰もが受けることができる広く開かれた環境を**選択肢**として提供する

(費用については、、、)



参考文献

齊藤大将 (2022年04月04日).なぜメタバースに学校を作ったのか--VRChatのコミュニティ「私立VRC学園」を振り返る。

CNETJapan.<https://japan.cnet.com/article/35185778/>.(9/18)